

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 名 前	ヤマザキ センジ 山崎 宣次	職 名 特任教授 人間学部 子ども教育学科	取 得 学 位 博 士 (学 校 教 育 学) (大学名) 兵庫教育大学 (取得年月) 2016年 3月
-------------	-------------------	-----------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
<p><1 教育方法の実践例> ・教える授業から学ばせる授業へ</p> <p><2 作成した教科書, 教材> ・小学校理科における基礎的な実験器具の使い方動画作成(7本)</p> <p><3 実務家教員についての特記事項> ・山梨県教員免許状更新講習(幼稚園教諭対象)自然科学 講師</p> <p><4 その他:社会活動・地域貢献活動の実績> ・甲府市審議会委員 ・甲府市幼児教育センター月齢別講座講師 ・岐阜大学教育学部附属学習協創開発センター プロジェクト研究員 ・未来の学び 小学生のための生涯学習講座 講師</p>	<p>2019年度～現在</p> <p>2013年10月～</p> <p>2019、2021年度</p> <p>2020～2022年度 2019～2022年度 2017～2022年度</p> <p>2021年10月</p>	<p>大学のすべての講義において、ジグソー法などを活用し、一方的な教授ではなく、学生自らお互いに調べ学ぶ授業を取り入れた。</p> <p>小学校教員を目指す学生向けに小学校で扱う基礎的な実験器具等(マッチ, アルコールランプ, ガスバーナー, 電流計, ピペット, 星座早見, 実験用ガスコンロ等)の正しい使い方の動画を, 学生をモデルに作成した。現職の教員向け研修としても使えるだけでなく, 授業で小学生にも見せる教材としても制作した。 (マッチの正しい使い方は96,000回以上視聴されている。)</p> <p>甲府市廃棄物減量等推進審議会委員(学識経験者) 親子で楽しむ科学教室講師 ・タブレット PC 教育利用研究 ・産官学による学力向上協創プロジェクト研究 大学コンソーシアムやまなし主催の講座で「国語を科学する」の講演(山梨大学)</p>

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数

<p><著書></p> <ul style="list-style-type: none"> 成功の秘訣 新任小学校教員のための確実な手引き4月から教壇に立つあなたに: これで教育方法も生徒指導もバッチリ 単著 2023年12月 Independently published (Amazon Kindle) 1-113 未来の学び 小学生のための生涯学習講座 第2章「国語を科学しよう」 共著 2022年3月 学術研究出版 小菅健一 他6名 大学コンソーシアムやまなし「未来の学び」運営委員会 38-59 						
<p><論文></p> <ul style="list-style-type: none"> 教職課程学生の自然体験の実態 — 幼稚園・小学校教員課程の学生から— 単著 2024年3月 子どもと自然学会誌 19号 44-54 探究型の授業実践に向けた教職準備性 — 探究の授業づくりにおける教師の協働性に注目して— 共著 2024年3月 大阪成蹊大学研究紀要 教育学部篇 10号 羽野ゆつ子、山崎宣次、井藤元 79-90 SEL を基盤とした探究型授業実践力養成プログラムの実践と評価 — 授業に創発をもたらす教師の育成に向けて— 共著 2023年2月 大阪成蹊大学紀要9号 羽野ゆつ子、山崎宣次、井藤元 73-85 教員養成におけるイノベティブ教育の試行～オンライン授業での探究型授業の実践～ 共著 2022年3月 山梨県立大学 人間福祉学部研究紀要 17号 山崎宣次、井藤元、羽野ゆつ子 123-131 イノベティブ教育(探究型授業)の実践に向けた教員養成の現状と課題 — 教職志望学生の教職課程における学習に関する調査から— 共著 2022年3月 大阪成蹊大学紀要8号 羽野ゆつ子、山崎宣次、井藤元 187-199 小学校の漢字・計算に対する学習意識に関する調査 共著 2020年2月 岐阜大学カリキュラム開発研究 36号1 加藤直樹、興戸律子、山崎宣次他8名 131-138 漢字と計算に対する学習意識と正答率について 共著 2020年2月 岐阜大学カリキュラム開発研究 36号1 山崎宣次、興戸律子、松井徹、加藤直樹 108-116 テクノロジーを活用した豊かな学びの評価尺度の開発と予備調査 共著 2020年2月 岐阜大学カリキュラム開発研究 36号1 及川浩和、加藤直樹、埴岡靖司、山崎宣次 9-14 幼稚園教育要領等の「内容」に関する保育者の 共著 2020年3月 山梨県立大学人間福祉学部 山崎宣次、奥 59-67 						

意識			紀要	谷佳子、吉田 真弓		
----	--	--	----	--------------	--	--

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
・		
・教員養成課程の学生の自然体験について	2023年9月	日本科学教育学会第47回年会論文集47号(オンライン発表)
・教員養成課程の学生の生成AI利用実態について	2023年9月	日本教育工学会2023年秋季大会(第43回大会)講演論文集43号(オンライン、ポスター発表)
・教員養成におけるイノベティブ教育の実践 ー高等学校の総合的な探究の時間での取り組みー	2023年8月	日本教育報学会第39回年会論文集39号(オンライン発表)
・教員養成におけるオンラインを使ったイノベティブ教育の試行 ー総合的な探究の時間に向けてー	2022年8月	日本教育報学会第38回年会38号(オンライン発表)
・漢字・計算力向上のための振り返り活動の効果について	2022年8月	日本科学教育学会年会論文集46号(オンライン発表)
・学習振り返り活動時の教師支援のための個票ファイルの開発	2022年3月	第40回日本教育工学会春季全国大会論文集40号(オンライン発表)
・小学校特別な教科道德の通知表所見の分析	2021年10月	日本教育工学会第39回秋季全国大会39号
・教員養成における小学校理科の模擬授業 ～主体的で協働的な模擬授業とリフレクション～	2021年9月	日本理科教育学会第71回全国大会論文集71号
・個に応じた計算ドリルを使った取り組みとその成果	2021年8月	日本教育報学会第37回年会37号
・保育業務の現状と業務の情報化の課題	2020年8月	日本教育報学会第36回年会36号
・小学校6年生理科におけるプログラミング学習	2020年2月	日本教育工学会2020年春季全国大会(第36回大会)
・漢字・計算学習に対する児童の学習意識と正答率の関係	2020年2月	日本教育工学会2020年春季全国大会(第36回大会)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本教育情報学会 日本教育工学会	評議委員	2011年12月 2011年11月

日本科学教育学会 日本理科教育学会 教育システム情報学会 子どもと自然学会 人間福祉学会	副会長	1988年8月 2011年8月 2014年6月 2013年4月 2014年4月
--	-----	---

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) https://research-er.jp/researchers/view/463257				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 総額(円)
・科学研究費助成	2021年4月～ 2024年3月	基盤研究(C)	イノベティブ教育の実践に向けた教職志望学生の学習に関する縦断的研究	3,250,000
・文部科学省 令和2年度「学力向上のための基盤づくりに関する調査研究」	2019年4月～ 2022年3月	テーマ A-③「効果的な補充学習・家庭学習の実施」	学力向上のための基盤作りに関する調査研究	2,321,150
・科学研究費助成	2019年4月～ 2020年3月	基盤研究(C)	アブダクションを用いた豊かな学びモデルの開発	3,380,000

3. 特記事項

<p>【非常勤講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環太平洋大学 通信教育部「理科教育法」(2020年4月～現在) <p>【researchmap】</p> <p>https://researchmap.jp/yamazakisenji</p> <p>【資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状(理科)、高等学校専修免許状(理科) ・保育士資格 ・甲種危険物取扱者、毒物劇物取扱者
